

1 単元名 世界で活躍する私を語ろう ～20年後の同窓会～

2 単元の目標

- ・ 職業や住んでいる所、その場所では有名な食べ物、スポーツの英語表現を理解する。また、母音に着目し、aeiouを含む単語を聞き取ることができる。(知識・技能)
- ・ 聞き手に配慮しながら、世界で活躍する自分を語るための言語材料やフレーズを選択し、表現方法を工夫して伝えようとする。(思考・判断・表現)
- ・ 他教科等で学んだことを自分の将来の姿につないで想像し、よりよい世界に参画しようとする目的意識をもって、世界で活躍する自分の生き方を語ろうとする。(主体的に学習に取り組む態度)

<言語材料>

- ・ Long time no see.
- ・ What do you do now?
- ・ I'm a (職業). (illustrator, designer, baseball player, teacher, doctor, police officer, florist, game creator)
- ・ I live in～.
- ・ What (food, place, sport) is famous in(国名).
- ・ see you later.

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、世界で活躍することをテーマに、20年後の同窓会という設定の中で、自らの将来について思いを馳せながら、既習の英語表現を使ってやり取りを行うものである。

世界で活躍する人という、メディアに登場するスポーツ選手や芸能人を思い浮かべがちになる。本単元でも U.S.A のメジャーリーグで活躍する選手やオリンピック・パラリンピック競技のアスリート等、児童がよく知る人々を導入とするが、それに次ぐ例として、草の根で国際協力活動を展開している民間人(義足製作技術者)のルダシングワ真美さんを紹介する。地図や写真を用いて、ルワンダの歴史や人々の様子から、彼女がそこで働く理由を知り、世界で活躍することへの現実感をもったり、英語を学ぶことへの自分なりの意味や目的を捉えたりするきっかけを得ることもできるだろう。また、自らもよりよい世界に参画するために、課題を発見しようと視野を広げたり、主体的に調べたり、考えたり、異なる価値感を認めたりする活動の連鎖・増幅も期待できると考える。

そして、20年後の同窓会では「世界で活躍する私」を語り、友達の活躍の姿を想像しながら聞くことで、教科等と日常生活との繋がりに気付き、自分自身の思いや個性を社会に役立て、生きがいをもとうとする主体的な生き方に向かおうとすることを期待している。

(2) 児童観

本学年の児童は、第5学年の外国語科で、様々な職業や自分の出来ること出来ないこと、憧れの人“My Hero”に関する英語表現を経験している。自分の個性や出来ること、目標としたい人の様子について、自分なりに工夫して伝え合い、表現し合うことの楽しさも味わってきた。更に、視野を世界に広げて将来を想像する活動にも、高い意欲をもっている。

また、社会科では、貿易についての学習で国の地理や歴史、経済格差や環境問題についての学習を重ねてきている。総合的な学習の時間では、4年生の福祉領域で障がいについて、体験的に理解し、5年の環境領域では家庭科と併せて自然と食料・経済の関連について、考えたりまとめたりした。6年の国際・平和の領域では、修学旅行で訪れる広島をスタートに、世界のパートナーシップについて話し合い、地元・愛媛にあって、世界で活躍する民間人の生の話を聞く活動を重ねている。

最高学年として、特別活動の幅が広がり、児童会活動に責任感や意欲をもって取り組んだり、身近な出来事や身の回りの実態から課題を発見して解決しようとしたりするこの時期に、本単元を取り上げて活動する意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、海外で活躍する日本人について知ることから始める。既習表現も用いた説明の音声を聞き、どのような活動をしている人なのか映像を手掛かりに想像する。また、チャンツや多様なゲームを通して、職業名の英語表現に慣れ親しむ。

次に、世界地図や名所・名物等の資料動画を用いて、世界各国の国名の英語表現や位置、その国の名所の歴史を知ったり、名物の形・味などを調べたりする。その中で、自分が行きたい国や活躍の場を求めたい国を知ったり選んだりする。その際、国語・社会科・家庭科・理科等の関連資料や、下学年の既習内容を、個別支援の手立てとして示すようにする。

さらに、総合的な学習の時間に会った世界で活躍する地元のゲスト・ティーチャーの協力によるコメント動画も作成しておくことで、憧れ・目標の人の「本物」のもつ説得力を児童自身のモチベーションにつなぐ。この気持ちをベースにして互いに語り合う「世界で活躍する私」を、一時の想像だけに終わらせることなく、今後、自己調整力や自己成長力を育むマイルストーンの1つとして見つめさせたい。

(4) ESD との関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

多様性…世界の自然・歴史・文化は多様であり、国によって習慣や価値感異なる。その多様性を認めることが、自国の価値観や自己の存在意義を受け入れてもらうことにもなること。

相互性…世界レベルで活躍を必要とする分野や人々は相互に関わり合っており、それによって、活動の効果が高まったり、互いの技術や発想がより質の高いものになったりすること。

連携性…これからの世界は、1つの国や地域だけで課題に取り組むのではなく、地球市民として、力を合わせ連携して環境・経済・平和などを支えていくことが大切であり、一人1人がその役割の担い手であること。

・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予想して計画を立てる力…世界の様子についての資料をもとに、これからの世界に必要なアクションを予測し、今後の自分の学び方や生き方をどのようにするか計画する。

コミュニケーションを行う力…世界の状況をより良いものにする活動について、20年後の同窓会のシミュレーション交流を通して、自分の個性を生かした活動の方法や考えを創造する。

進んで参加する態度…世界の状況を改善するために、自分に出来ることはないかと考え、課題に対するアンテナを高くして疑問をもったり、積極的に関わろうとしたり、自分なりの考えを作って行動しようとする。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値感

人権・文化を尊重する… 自国だけでなく、国籍を問わず、同じ時代を過ごす全ての人が、安心して過ごせるように努めなくてはならない。

幸福感に敏感になる… 自分の国や自分達の世代だけが幸せであることが将来的にも幸せであるとは限らないし、幸福は与えられるものだとは限らない。

・ 達成が期待される SDG s

8 働きがいも 経済成長も

17 パートナリシップで目標を達成しよう

4 単元の評価規準

	知識・技能(ア)	思考・判断・表現力(イ)	学びに向かう態度(ウ)
聞くこと	世界で活躍する人物についての短い紹介文を聞いて、内容を理解している。	世界で活躍する人物についての短い紹介文を聞いて、概要を捉えている。	世界で活躍する人物について、主体的に紹介文を聞こうとしている。
読むこと	英語の母音を聞き取り、その音を表す文字を識別している。		英語の母音を聞き取り、その音を表す文字を識別しようとしている。
話すこと (やり取り)	世界で活躍する将来の自分の職業や住んでいる国の表現について理解している。	世界で活躍する将来の自分の職業や住んでいる国について、基本的な表現を用いて伝え合っている。	世界で活躍する将来の自分の職業や住んでいる国について、基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)			
書くこと	職業名や国名のなぞり書きをしたり書き写したり、語句に含まれた英語の母音を捉えて書いたりしている。	大文字小文字の使い分けを考えて、職業名や国名のなぞり書きをしたり書き写したり、英語の母音を意識しながら語句を書いたりしている。	大文字小文字の使い分けや4線の位置を考えて、職業名や国名、英語の母音を含む語句を丁寧に書き写そうとしている。

5 単元の指導計画(全 8 時間)

◆=目標

時	目標と主な活動	評価の観点	ESD の支援
1	<p>◆世界で活躍する人物に関する短い紹介文を聞き、だいたいの内容を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田中将大や大谷翔平選手について聞き、わかったことを日本語で書く。 ・ 教師の会話を聞き、単元の目標をつかむ。 ・ 職業チャンツをする。 ・ 職業カルタや bridge ゲームをする。 	<p>職業や世界で活躍する人物に関する表現を理解しようとしているか、次時と合わせて評価する。</p>	<p>世界で活躍する人気のスポーツ選手の例を色々挙げ、活躍の場は世界に広がっていることに気付かせる。</p>
2	<p>◆世界で活躍する人物に関する短い紹介文を聞き、だいたいの内容を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国名チャンツをする。 ・ 国旗カルタやゴーフイッシュをする。 ・ ルダシングワ真美さんについて聞き、わかったことを日本語で書く。 ・ 愛媛にも、真美さんと同じ思いをもち、異なる立場で活躍している人がいることを知る。 	<p>世界で活躍する人物に関する短い紹介文を聞き、だいたいの内容を理解できる。(行動観察・書き込み点検)</p> <p>思・判・表 主 聞くこと イ</p>	<p>多くの分野において、世界で活躍している自分の地域出身の民間人の例を挙げ、世界を身近な現実として捉えさせる。</p>
3	<p>◆日本の有名な食べ物や場所、スポーツについて質問したり答えたりできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有名なものについての教師の話聞き、わかったことを日本語で書く。 ・ What food [place / sport] ?の英語表現に慣れ親しむ。 ・ 日本の有名な食べ物や場所、スポーツについて、質問したり答えたりする。 ・ 自分の 20 年後を想像して選んだ職業と国についてのカードを手掛かりに、単語を 4 線に書き写す。 	<p>登場人物に関する短い紹介文を聞き、だいたいの内容を理解できる。(行動観察・書き込み点検)</p> <p>思・判・表 主 聞くこと イ</p> <p>日本の有名な食べ物や場所、スポーツについて質問したり答えたりできる。(行動観察・書き込み点検)</p> <p>思・判・表 主 話すこと (やり取り) イ</p> <p>職業や国名を書くことができる。(書き込み点検)</p> <p>思・判・表 主 書くこと ア</p>	<p>世界の国には、それぞれ食・場所・スポーツなどの有名なものが、文化として存在していることに気付かせる。</p> <p>また、2で取り上げた地域の人物が関わる国の有名なものについてもものに触れ意識をつなぐ。</p>

4	<p>◆挨拶, 職業, 住んでいる国, 有名なものを会話でやり取りするための表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ職業や国について調べる。 20年後の同窓会チャンツをする。 ペアで20年後の同窓会の練習をする。 	<p>選んだ職業や国について、やりとりに使える既習の単語やフレーズを使ったり調べたりすることができる。</p> <p>思・判・表 主</p> <p>20年後に住んでいるところや職業などを質問したり答えたりすることができる。</p> <p>〈行動観察〉</p> <p>話すこと (やり取り) イ</p>	<p>20年後の同窓会で、どんなことを語れる自分でいたいか考える事を通して、自分の働き方や生き方への見通しをもつきっかけとする。また、将来に向けて大切にしたい事柄に気付くことができるようにする。</p>
5	<p>◆英語の母音に注目しながら聞き, 単語の真ん中の母音を選んだり書いたりできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> aeiou チャンツを歌う。 aeiou カルタをする。 aeiou の音を聞き、母音を含む単語カードを並べる。 3文字の単語の構成音を、1つずつ発音しながら、真ん中にある母音の文字をなぞる。 (例: cat, bed, wig, rod, cup) 	<p>英語の母音に注目しながらカルタをしたり、聞こえた順に並べたりできる。〈行動観察〉</p> <p>知・技 主</p> <p>読むこと イ</p> <p>英語の母音を意識しながら単語を言い、真ん中の文字をなぞって書くことができる。</p> <p>〈書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>書くこと ア</p>	<p>日本語と英語の母音について、語句の音声を通して、共通点と相違点に気付かせる。</p>
6 7 8	<p>◆20年後の同窓会の場面を想定して, 海外で活躍する自分を紹介したり, 相手の話を理解して適切に応答したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 20年後の同窓会の場面を想定し、世界で活躍する自分や友達について、聞いたり話したりする。 「同窓会・将来の思い出動画」を撮影する。 	<p>海外で活躍する将来の自分や友達を想定し、互いの職業や住んでいる国の有名な食べ物や場所について質問したり答えたりすることができる。</p> <p>〈行動観察〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>話すこと (やり取り) イ</p>	<p>自分の個性や、興味・関心のあることを生かして、世界の人々のために出来ることを伝え合うことで、将来への見通しや、生き方についての考えを深めさせる。</p>

6 実践を振り返って

本実践を開始した頃、「将来、住んでみたい国を思い浮かべて話そう！」という投げ掛けに対して、多くの児童が、“I live in Japan.”と答えていた。日々、報道されるロシアとウクライナの情報や、それに伴う様々な生活価格の高騰は児童の心に強く影響し、外国への関心が閉ざされこの返答を生んでいたと思われる。

しかし、本単元の学習と同時期、総合的な学習の時間に世界で活躍している方と実際に話して世界の現状について学ぶ中で、世界には平和とは言い難い外国の様子があることや、各国に異なる文化があり、尊重し合うことが平和の始まりであることに気付くようになった。教材に取り上げられる Hero だけではなく、故郷である愛媛にも、思いをもち、自分の職業を通して世界で活躍する人々がいることを知り、児童の気持ちに小さな変化が生じたようであった。

これを機に、世界で活躍する地域の方々から「なぜ、外国語を学ぶのか」「1度、他の国を体験した目で日本を見直してみよう」とメッセージ動画をいただき単元のポイントで視聴したり、各活動で、これを意識する言葉掛けをしたことで、20年後の自分を想像して友達と活躍を応援し合う場面にリアリティをもつことができた。撮影の当日は、衣装や小道具を持参し強い意欲に満ちた演技を披露する児童もいた。英語が苦手な児童もいるが、グループで練習を重ねているので互いの台詞にアドバイスすることができる。これを逆手に捉え、「困った時に、助け合う場面も大切な思い出の1つになる」と伝え、やりとりの過程を大切に。児童は、将来、同窓会の場で、この動画を視聴できる日を、嬉し恥ずかしの気持ちで楽しみにしているようである。

また、総合のまとめに当たり、音楽専科とも連携して、児童主体で企画した募金活動のテーマ曲として“*We are the world*”を歌うことになった。学習状況に合わせ、無理の無いよう和訳の歌詞を基本とし、6年生全員が歌唱部分を録音してミュージックビデオを作成し、「今月の歌」として全校に提案した。自分たちの活動が周囲を動かす第1歩となったことは、自己有用感を育み、今後のアクションにもプラスに影響するのではないかと考える。

本県の小学校外国語教育の目標である「コミュニケーションのよさや楽しさが実感できる外国語学習」を目指すに当たり、キャリア教育であるとともに、SDGs 17Goalsの8,10,16,17でもあるこの学習は、外国語学習が将来につながることに気付く意味でも有意義であったと感じている。今後も、生きて働く言葉として、実際の思いをやりとりする「言語活動」としての外国語学習を工夫していきたい。



<地雷撤去ボランティア高山氏>



<20年後の同窓会撮影の様子>



<本単元に関わる 17Goals>